Merging RAVENNA ASIO / Merging Audio Device : ST2022-7 Setup



必要なもの

- Merging RAVENNA ASIO Driver (V13以上) またはMerging Audio DevicegがインストールされているPC (Windows)。詳細については、このページの指示に従ってください。
- ST2022-7対応の AES67 / Ravenna 互換デバイス(ドライバーにASIOクロックを使用する には、ネットワーク上にMergingデバイスが必要です) Anubisでは、ファームウェア V1.1.8b44345以降が必要です。 Horus / Hapiは、ファームウェアV3.9.9b44345以降が必要で す。
- 適切に設定された AES67 / Ravenna 互換ネットワークスイッチがデバイスとコンピュー ターの間に必須です。
- "ASIO ST2022-7モード"の認証キーについては、keys@merging.comまたはMerging社製品 販売パートナーにお問い合わせください。
- PCには、Google Chrome がインストールされていて、標準のブラウザとして設定されていることを確認してください。

手順

1. 認証キーの入力

コントロールパネル > MT Security Settings を開き、Keyファイルを Import で読み込んでください。

KeyのImport後、Authorization のリストで "ASIO ST2022-7" オプションがPermanentになっていることを確認してください。

2. デバイスのIPアドレスの設定

この例では Anubis SPS で設定を行います。 Mergingロゴを長押ししてSettingsにアクセスします。

General > Network を開きます。 ST2022-7 mode をアクティブにします。 Interface 1 と 2 にIPアドレスを設定します。 Note: IPアドレスはIPのコンフリクトを避けるため異なるレンジを使用してください。 設定を終えたら Apply & Reboot を押してください。

3. PCのIPのアドレスの設定

この例では、コンピューターに2つのネットワークアダプターと1つのAnubis SPSデバイスがある ことを前提としていますが、2つのデバイスで実行する場合も同じ手順が適用されます。

コントロールパネル > ネットワークと共有センター を開き。 左にある "アダプター設定の変更"を クリックします。



アダプター アイコンを右クリックし、"プロパティ"を選択します。

"インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)"を選択し、"プロパティ(R)"をクリック します。

"次のIPアドレスを使う" にチェックを入れ、IPアドレスを入力します。アドレスはAnubis SPSの Interface 1 に設定したアドレスと同じレンジに設定してください。

例: IPを 172.168.0.10 に設定し、Anubis Interface 1 を172.168.0.20 に設定した場合、Windowsでつ はサブネットマスクを自動的に設定します。



 Network Connections → → ↑ 2	Ethernet Properties × Networking Sharing Connect using:	Internet Protocol Version 4 (TCP//IPv4) Properties X General You can get IP settings assigned automatically if your network supports this capability. Otherwise, you need to ask your network administrator for the appropriate IP settings. Obtain an IP address: ITZ . 254 . 1 . 99 Subset the following IP address: ITZ . 255 . 0 . 0 Default gateway: . Obtain DNS server address automatically Obtain DNS server addresses: Preferred DNS server: .
Properties	Install Properties Description Transmission Control Protocol/Internet Protocol. The default wide area network protocol that provide communication across diverse interconnected networks. OK Cancel	Use the following DNS server addresses: Preferred DNS server: Alternative DNS server: Validate settings upon exit Adyanced OK Cancel

4. Merging RAVENNA ASIO または Merging Audio Device ドライバーの設定 Merging RAVENNA ASIO または Merging Audio Device を開きます。

RAVENNA/AES67 Settings で、Interface 1 に接続しているネットワーク アダプターを選択します。

Interface 2 に接続しているネットワーク アダプターを Secondary adapter に選択します。

Apply をクリックします。

5. Advancedページでオーディオ コネクションを作成する

MT Discovery を開きます。

MTDiscovery

	ight	2020 Merging Tethnologies.		Discovery RVICES BONJOUR BROWSER	
× 阔	RA	VENNA Devices			
		Horus			
	N	NADAC			
~	N	ZMAN			
		N Anubis_610007			
		N Anubis_610007	Open		
	0	MassCore	Open Advanced		
~	0	ASIO	Open Firmware Update		
		ASIO (on win1909)	- F e b	1	
		ASIO (on win1909)			
	0	CoreAudio			
		Others			

– 🗆 X

Anubis を右クリックして、"Open Advanced" を選択します。





ブラウザが開いたら、"General Settings" ページを開き、"ST2022-7 mode" をアクティブにしてください。

"Session Source" ページを開き、ソケット アイコンをクリックして新しい "Source" を作成してください。

"Output Interface(s)" を "Interface 1&2(ST_2022-7)" に設定してください。

その他の設定は(チャンネル数, Inputs, など)通常通り設定してください。

General settings PTP Session se	ources Session sinks	Ins/Outs I/O Router Statistics NMOS System
🐼 Create new source 👘	× 2022	
Anubis_ST2022-7 Source	Configuration	
	Enabled IO Name Description	Stream Anubis_ST2022-7 Source
	Output Interface(s) Auto-unicest Address Address sec	Interfaces 1&2 (ST_2022-7) Control of the second s

次に同様の方法で ASIO デバイスの "Advanced pages" を開きます。

"General Settings" ページを開き、"ST2022-7 mode" をアクティブにしてください。

"Session Sink" ページで新しい "Sink" を作成します。

"Source" のドロップダウン メニューで Source を選択します(システムはSourceがST2022-7であることを認識します)。

Create new sink	18				
Anubis_ST2022-7 Source	Configuration			Session Info	
	IO Label Description Source Delay (samples) Ignore refclk GMID Channels	Audio Device Anubis_ST2022-7 Source Anubis_ST2022-7 Source Sap://Anubis_ST2022-7 Source Channel count Count adapted ASIO Input 1 - ASIO Input 8	Auto) selection	Session status RTP status Session name Playout delay RTSP Host Interface 1 RTP status Clock domain Address Payload	Connected Receiving Anubis_ST2022-7 Source 512 (~10.7 ms) 169.254.65.181 0x10: receiving RTP packet PTPv2 0 239.165.181/15 98 L24/48000/8
				Interface 2 RTP status Clock domain Address Payload > SDP	0x10: receiving RTP packet PTPv2 0 239.1.20.13/15 98 L24/48000/8

以上で Anubis の Source は ST2022-7 で ASIO に接続されました。 左のペインに両方のインター フェースのコネクションステータスが表示されます。

ASIO Session Source と Anubis Session Sinks で同様の操作を行い、ASIOからAnubisへのコネク ションを行ってください。

Notes : • Advanced ページでマニュアルで接続を行うのではなく、NMOSサーバーを通してコネク ションを行うことも可能です。 NMOS には認証キーが必要です。

